

# 自由記述欄の質的分析

早稲田大学災害復興医療人類学研究所(WIMA)

五井野 龍了 (早稲田大学大学院 人間科学研究科)

宝本 小枝子 (早稲田大学大学院 人間科学研究科)

# 自由記述・みなさまの声

[問1] 困っていること、心配な事があれば、お書きください。

例) 生活や仕事、住宅、法律や損害賠償、子どもの教育や子育て、いじめやいやな経験、家族関係、近隣関係、避難・帰還・移住、心身の健康、コロナ関連など

[問2] 国・県・市区町村自治体に対する改善点や要望があれば、お書きください。

[問3] その他、ご自由にお書きください。

※ 年代・性別・区域・回答者番号  
(web版回答者はwebと記載)

## 15. 自由回答・みなさまの声

**問1** 困っていること、心配なことがあれば、お書きください。

例) 生活や仕事、住宅、法律や損害賠償、子どもの教育や子育て、いじめやいやな経験、家族関係、近隣関係、避難・帰還・移住、心身の健康、コロナ関連など

**問2** 国・県・市区町村自治体に対する改善点や要望があれば、お書きください。

**問3** その他、ご自由にお書きください。

賠償

# 賠償 [共通]

「東京電力への損害賠償請求権を消滅させないでください。まだ未請求の損害賠償も残っています。原発災害は終わりがなく継続している」  
70代女性 [避難指示区域内] No.256

「避難前の仕事は常勤→厚生年金+社会保険。現在非常勤→国民年金+国保。国保は現在免除されているがこの先国保料を支払うとなると今の収入では苦しい。生活がやっつけられるか?その辺の賠償を国、東電はどう考えているのだろうか?」  
50代男性 [避難指示区域内] No.31

「国が決めた原発なんだから事故に対してしっかりと補償するべきです」  
40代女性 [避難指示区域外] No.53web

「相談窓口があっても、何を対応してくれるのかもわからない。もっと具体的で明確なものをわかるように打ち出して欲しい。今の状況では困っていても相談しに行ってもいいのか尻込みしてしまう」  
50代女性 [避難指示区域外] No.42web

# 賠償格差 [避難指示解除区域]

「10年経過しても、精神的な問題は解決されていません。生まれてずっと住んでいた場所は原発事故によってうばわれました。同じ原発被害者にもかかわらず、双葉、大熊の住民との賠償格差は納得できません。私達にもふるさと喪失賠償をすべきだと思います。」

50代女性 [避難指示解除区域] No.360

「人によって、損害賠償が違っているのは納得いかない。言った者勝ちになっている。」

60代男性 [避難指示解除区域] No.422

「家屋などの賠償は100%~75%が区域区分で定められていたり、精神賠償にも差がつけられている。しかし、現実は(避難指示)解除されても簡単に復興はできない」

60代男性 [避難指示解除区域] No.157

「帰還(困難)区域と違って賠償金が違うこと、一本の線で区域を決めることでなく町全体の線量測定できめてほしい。」

50代男性 [避難指示解除区域] No.433

# 理不尽な賠償基準 [避難指示区域内]

「実家に住んでいたのにもかかわらず、生活水準が満たないと東電に言われて、**実家にいたことが認められなかった。**(借家に住民票。借家も避難指示区域内)節約して生活していたのがあだになったとしか言えない。そのため、自分の名義なのに、避難先で買った家の差額分とかの補償がない。」  
50代女性 [避難指示区域内] No.454

「震災時、持ち家、住民登録であるが、**単身赴任であったことから精神的損害の対象外**となった。」  
40代男性 [避難指示区域内] No.94

「賠償終了なのはおかしい。**あれだけまだ帰れない場所があるのに終わりなのはおかしい。最後までやるべきです。**私たちは家やいろんなものをうばわれたのだから、あれだけで終わらせていいのかちゃんと考えるべきです。」  
30代男性 [避難指示区域内] No.28

歸還・移住

# 避難指示解除されたとしても [避難指示区域内]

「自分の置かれている立場が移住者なのか避難者なのか心の整理がついていない。将来的に地元に戻りたい気持ちがあるが、一中略一損害賠償も移動については2回までとなっていて、すでに金を使い果たしている状況で、帰還に関する費用を新たに捻出する余裕と時間がない。」  
50代男性 [避難指示区域内] No.289

「今のところ一時帰宅時の移動費用は、東電賠償請求でもらえるが特定復興再生拠点となり解除されると請求できなくなり、実費で移動費用を負担し、自宅を管理しなければならなくなる。」  
50代男性 [避難指示区域内] No.134

「帰還したとしても周りの環境がちゃんとしていないし仕事もはじめから見つけてとなるととてもきびしい。」  
30代男性 [避難指示区域内] No.28

「もう帰還する事はないので、せめて家の損害賠償を」

90代女性 [避難指示区域内] No.438



# 避難指示解除されたけれども [避難指示解除区域]

「未だに方針が見えない。方針が示されないのであれば、アンケートは無意味では？ —中略—  
生きている間に方針（本当の意味での）示してほしい。」

60代男性 [避難指示解除区域] No.596

「避難先から自宅の清掃に帰宅するたびに、町全体に解体された家が目立ち、人と会うこともないため、帰還したいという気持ちが低下してしまう」 60代女性 [避難指示解除区域] No.222

「富岡町も住民票があるだけの人が多く、町に戻って生活する人は少ないと感じる。町としてやっていけるの？」

60代男性 [避難指示解除区域] No.596

# 固定資産税・土地の管理 [避難指示解除区域]

「これから先、住む予定のない浪江町の土地（家屋は解体済）にかかる固定資産税を払い続けられないといけない。」  
60代男性 [避難指示解除区域] No.496

「帰還するつもりはありません。新しい生活が始まっています。元の家土地の管理や、税金などが不安です。」  
60代男性 [避難指示解除区域] No.267

「移住するにしても、富岡に残った土地はどうするのか、町や県が買取るのか？固定資産税を払い続けるのか？」  
60代男性 [避難指示解除区域] No.390

「今でも線量が高いのに住むことが出来ない土地に固定資産税を支払するのはおかしい。」  
50代男性 [避難指示解除区域] No.433

「移住を決め、地元に残した土地の処分に大変困っている。」  
60代男性 [避難指示解除区域] No.398

# 固定資産税・土地の管理 [避難指示区域内]

「他県に永久移住し税金を納めますが、帰還困難区域にある家の税金が金額支払する様に成るのか心配です。免除してほしいです。検討してください。」

80代男性 [避難指示区域内] No.124

「売却希望者には、東京電力及び国が、責任を持って買い取るべき。—中略—今後、帰還困難区域が解除になっても、固定資産税は支払えない。(原発事故から10年、だんだん必要のない土地になっている。)」

60代男性 [避難指示区域内] No.325

# 放射能汚染

# ガンと原発 [共通]

「夫はガンとのことで関連死に該当することなく終わりました。多分ガン死亡の方達は、皆さん該当しなかったのかな?と思うと、とても辛く、あの避難での苦労、焦り等はわからないと思う。」

70代女性 [避難指示区域内] No.241

「被災者の人には癌になっている人が多く3回も手術している人も多い、私もだが。」

60代男性 [避難指示区域内] No.115

「震災から11年、避難(9カ所)学校(転入転校3回)再就職にと本当に大変でした。心配な事は、子供達が将来、何かしら病気などの健康被害が出ないかという事。また私自身も2年前にガンが見つかり、震災から10年経過しても色々不安や心配が必ずある。気が晴れる事は震災から一度もない。」

40代女性 [避難指示解除区域] No.395

# ガンと原発 [避難指示区域外] 子どもたちの将来と健康に関する心配

「現在高校生の**子供が将来、原発事故によるガンを発症しないか**心配である。」

50代女性 [避難指示区域外] No.383

「子どもや自分が**将来被爆の影響**で病気になったり**子どもが妊娠した時に孫に影響**が出ないか心配」

50代女性 [避難指示区域外] No.37web

「親はともかく、**当時子どもだった世代以下には被爆者手帳を発行して、これから先の医療を**しっかり受けさせてサポートしてほしい」

40代女性 [避難指示区域外] No.33web

# 放射能汚染への対応に関して [避難指示区域外]

「放射性物質が残る地域に住ませるな」 40代女性 [避難指示区域外] No.33web

「不溶性のセシウムがほとんどの放射性物質だらけの福島市には、大人になったとはいえ子どもを住ませたくない。私自身も大人とはいえ住みたくない。汚染されていない土地に移住したい。移住の権利を求める」 50代女性 [避難指示区域外] No.87web

「あの4機原発同時事故によって拡散された放射性物質が実際にどのくらいの質と量であり、10年を過ぎた現在、実際に、どの位、大気・水中・土壌、そして、多様な生き物達の体内に残っているのか、どの位、移動しているのか、誠実に科学的に調査されて、公表されるべきであると考えます。それが誤魔化され続ける限り、心配事は続く！」

50代男性 [避難指示区域外] No.43web

# 放射能汚染への対応に関して [避難指示解除区域]

「放射線による被爆はありませんとのことだが、低線被爆は我々だけがあびた訳だが、この先の健康を考えると心配である、定期的な検査をお願いしたい」

70代女性 [避難指示解除区域] No.279

「放射能に関しては、ごまかさないで対応してほしい。安心して生活できる社会にしてほしい。」

60代男性 [避難指示解除区域] No.489

「原発事故による放射能汚染地域の復興は百年単位で考えて計画をたてるべきこと。事故を起こした原発もそのまま、汚染地域の8割以上も未除染のままでの「復興」はあり得ない」

60代男性 [避難指示解除区域] No.496



健康・病い・老い

# 病いと避難生活 [共通]

「右ひざを骨折し手術しました。その際、糖尿病と、心臓病が分かり—中略—心臓の手術を受けました。東京に住む息子二人に洗濯物などのお世話を頼みました。—中略—入院費以外に息子に渡した費用（交通費など）が15万かかりました。こういう出費は全て原発事故のせいで家を追い出されたせいと私は考えています。地元に住れば、叔母やイトコ達に頼めましたから。原発は大罪です。人々の人生を狂わせてしまいました！」

70代女性 [避難指示区域内] No.213

「避難生活で持病が悪化して治療をしているのに、東京電力補償相談室の内部の医者の診断で打ち切りにするのは変なことだ—中略—かかりつけ医師に面談をして決めて欲しい。」

50代男性 [避難指示区域内] No.433

「前立腺がんの再発によりステージ4—中略—福島在住の時は毎月治療してましたが避難生活中は家族（安全）の事ばかりで油断しました。医療負担支援が終わらない事を祈ります。」

70代男性 [避難指示解除区域] No.450

「次男が福島へ戻り仕事する予定がコロナ関連で行けず、そのうち私が胃ガンに」

70代女性 [避難指示区域内] No.232

# 精神的苦痛・トラウマ [共通]

「ウクライナ侵攻によるニュースで車の渋滞を見たら、当時の避難の様子がフラッシュバックして、体調不良になりました。原発の攻撃のニュースには、心が痛み、涙が止まらなくなっていました。」  
60代女性 [避難指示区域内] No.228

「学校(避難所)の生活でトラウマになり生活の人間関係がうまくできない。考えるとドキドキして血圧が上がる」  
40代女性 [避難指示区域内] No.70

「年中無休と言う程、精神的不安とストレス—中略—社会性失うことが怖い—中略—たび重なる不幸」  
70代女性 [避難指示区域内] No.489

「大熊に行くと精神状態がおかしくなる」  
40代女性 [避難指示解除区域] No.476

「自分一人では何もできない。ただ呼吸している」  
70代男性 [避難指示区域内] No.329

「生きていく意味がわかりません」  
60代男性 [避難指示区域内] No.278

# 老いとタイムリミット [避難指示区域内]

「除染がいつになるのか、はたしてできるのかもわかっていません。今でももう戻る体力がありません。—中略—又、自分が死ねば、妻や子供が相続するのも苦勞ばかりだと思うので、**生き**ている間に、国・県・町が買い上げてもらって**心配なく死にたい**と思っています。」

80代男性 [避難指示区域内] No.445

「原発事故から11年余り最近は何年も帰って居ません。変わり果てた我が家又は近辺にある黒い廃棄物を見ると息苦しい気分になるので。—中略—早めに解体してほしい。私も年齢が上なので、**身体の動く内に**施工してほしい。お願いします。」

80代男性 [避難指示区域内] No.477

「仮設住宅には高齢者たちも多く“**骨にならないと(富岡、ふるさと)帰れないんだべなあ**”と話しているのを耳にした。—中略—本当だ、そうなんだと母の納骨時に、その言葉を思い出した。」

年齢不明女性 [避難指示区域内] No.314

「国の原子力損害賠償紛争審査会の中間指針を見直して—中略—被害者の**存命中という**タイムリミットがあります。」

70代男性 [避難指示区域内] No.435

# 家族との関係

# 避難で変化した家族の形 [共通]

「両親と離れて暮らすことになったので、介護や日々の生活、お墓など将来的な不安」  
30代男性 [避難指示区域外] No.494

「関西に避難してすぐに母がエコノミー症候群にて入院、三度目の転院先にて死亡。  
49日後遺骨を抱き福島に転居、間もなく夫が体調崩して県立医大に入院(ガンで死亡) —中略—今は学校、家庭、仕事等の都合でたった6人の家族が4世帯に別れて生活している。」  
70代女性 [避難指示区域内] No.241

# 離婚 [共通]

「震災が原因でおごい離婚をした。男の力になってくれる腕の良い弁護士を知りたい。」

50代男性 [避難指示区域内] No.400

「離婚をしたので、これからの生活や教育の面でお金の心配がある。自分の老後も見通せない。子どもが独立したら、野垂れ死にするしかないと思うことがある。」

50代女性 [避難指示区域外] No.492

「息子夫婦が離婚したため、孫の面倒をみるのに、どこへも移動出来ず、仕方なく現在のところへ住居を建てました。しかし、浜通りと気候や環境が違う為になじまれません。東電からの住居確保にかかる費用の内、残っている金額を自由に使われる様にしてもらえれば、別のところへ移りたいです。」

70代男性 [避難解除区域] No.353

# 避難元の親族や知人との不和・分断 [共通]

「母の名義になっていたので弟妹と賠償の分配でもめている」

70代男性 [避難指示区域内] No.446

「避難する時に挨拶に行った本家で『国が大丈夫って言ってるのにお前は頭がおかしい!』『故郷を捨てるのか?親を捨てるのか?』等と散々なじられ怒鳴られたことがトラウマになり、今でも親戚や避難元の友人には原発避難とは言えてません。そのせいで親戚や友人とは付き合えなくなりました」

50代女性 [避難指示区域外] No.68web



# 近隣・地域との関係

# 県内避難者の苦悩 [避難指示区域内]

「福島県内に避難している両親—中略—人間関係が心配で、あいさつしても無視されたりと、元々住んでいた人からの目が厳しい。近隣の人が無言でこちらを見つめ、監視していて気持ちが悪い。本当ならば県外に住んで欲しい—中略—（私は都内に住みとても快適に暮らせている）」  
30代女性 [避難指示区域内] No.255

「（関西へ避難後）福島に転居—中略—今思うと県人の方々の方がイヤでした」  
70代女性 [避難指示区域内] No.241

# 避難先での無視・嫌がらせ [共通]

「震災から11年経った今も近隣から無視されたり、いたずらや嫌がらせをされたりしている。数年前からもポストから郵便物が何度も盗まれる・外に置いてあるゴミ箱まで見られる・表札のネームプレートをねじ曲げられたり、スコップで叩かれたりして壊される—中略—福島へ帰れと言われたこともある・隣の同級生の子から下校中、足をかけられて転ばされたり、押されたりして膝にケガをして病院に行ったが一言の謝りの言葉もない。隣の子とは遊ぶなと言われているらしく、庭先で顔が合うと親が呼んで家の中へ入ってしまう。—中略—好き好んで被災者になった訳ではない。」

60代男性 [避難指示区域内] No.115

「いわきナンバーの車だといたずらにあう。」

50代男性 [避難指示解除区域] No.433

# 避難者・被災者というレッテル [共通]

「生活や仕事では、被災者というレッテルで、賠償もらっているのだからといわれ働く事ないだろうとか—中略—時間外の仕事させられ帰りはいつも、最後になる。又、近所の付き合いもなく無視されて、いじめにあっているような感じになります。」

50代男性 [避難指示解除区域] No.433

「アパートやタクシーの方まで避難民だから、とはっきり言われたり」

70代女性 [避難指示区域内] No.241

「原発事故後、約11年経過しようとしているが、現在移住先でも福島県出身ということは話せず。—中略—いまだに放浪しているような気がする。過去に偏見や差別を受けているので、絶対に話せないと思う。同じ立場を経験した者同士しか、分かり合えないのではないだろうか？」

50代女性 [避難指示区域内] No.26

「地元が福島だというのがすごく怖い(言った事で白い目で見られる。言動が変化する。)」

60代男性 [避難指示解除区域] No.115

喪失

# 財産の喪失 [共通]

「移住と避難で全財産に近い物が無くなり、老後の生活が見えない。」

60代男性 [避難指示区域外] No.369

「家具(和ダンス、洋服ダンス、机、椅子、小ダンス、本棚3個、リビングテーブル、椅子4個、大中飾り棚、スチール製二段棚2個、一中略一岩波全集世界史、日本史、谷崎の源氏物語全集、辞典2、美術館に行った時の本50冊くらい、茶道辞書、茶花本と花の生け方、裏千家の教本、昭和45年からの月刊誌他、全部置いて来ました。運送屋さんは¥30,000値引きしてくれましたが、私には入らず東電の方に入りました。)」

80代女性 [避難指示解除区域] No.444

# ふるさと喪失 [共通]

「10年経過しても、精神的な問題は解決されていません。生まれてずっと住んでいた場所は原発事故によってうばわれました。」  
50代女性 [避難指示解除区域] No.360

「故郷が津波による立ち入り禁止になっているので帰ることでできず、部落の人達にも逢えずどこに避難しているかもわからず、本当にさびしい思いをしております。もし今逢っても話がかみ合わないと思う。原発事故がなかったら放射能も広がらず津波の後かたずけだけで今頃はきれいに元の自然になっていると思う。」  
性別・年代不明 [避難解除区域] No.192

「孫が、都会の学校に馴染めずとても苦勞し、友達もできず—中略—自営業で息子も一緒に働いていましたが—中略—別の職業に就いてしまいました。3.11がなかったら、家族仲良く、隣に気兼ねもなく暮らせたのに、人生狂ってしまいました。便利よく何でも手に入りますが、やっぱり故郷が懐かしく、山も海もあり緑いっぱいの田んぼのある故郷に、のんびり暮らして過ごしたいと常に思い出します。」  
80代歳女性 [避難指示区域内] No.223

# 人生の喪失 [共通]

「今まで築いてきた生活、仕事、友人達全てを失って悔しくて泣いていた。」

50代女性 [避難指示区域内] No.139

「子どもが、原発事故で学校生活を失い、避難によって自分の人生を変えられ、コロナ禍で再度同じように学校生活を失って、未来に希望が持てない」 50代女性 [避難指示解除区域] No.499



国・県・市町村自治体に対する要望

# 福島県行政への不満 [避難指示区域内]

「県も町も国の方針に従うとか、国の出方を見ているだけで独自の工夫があまり感じられない。本当に復興と考えるなら、国を待っていないで本気で独自の政策を早く進めて欲しい気持ちがある」  
50代男性 [避難指示区域内] No.495

「国県町は新しい町づくりはするが、元の住民の事は何もしない」  
60代男性 [避難指示区域内] No.214

「県も市町村も国のいいなりになってかんたんにあやつり人形の状態。ふるさとを捨させる状態にしておいて、市町村、及び県外に住んで居る人達には、塩対応。町民代表の人達（議員）は何をしている。」  
70代男性 [避難指示区域内] No.329

# 福島県行政への怒り [避難指示区域外]

「福島県と福島県人の味方になれ。福島は全部が被害を受けたのだ。被害者、被害県であることを自覚しているとはとても思えない、今の県、市町村のしていることは。福島県として国と東電に完全に賠償をさせなさい、県と県民に対して」

60代男性 [避難指示区域外] No.88web

「寄り添うのではなく、実のある支援をしてほしい。県民を苛める福島県の鬼のような対応は、国の意向を受けてなのだろうか？日本国憲法に有るように生存権とか、幸福を求める権利、子どもを安全なところで教育受けさせる権利を守ってほしい。」

50代男性 [避難指示区域外] No.81web

「福島県と福島県内市町村自治体が、国のいうことを聞くだけなのは情けないと思う。今の彼らは国の犬だ。自治体とは何なのかと疑問に思う。地元を一番知る自治体がもっと国に意見するべきだと思う。」

50代女性 [避難指示区域外] No.87web

# 重大事故にあった法律を [共通]

「東日本大震災/原子力発電事故は過去にない重大事故だと思います。今までの法律でなく、重大事故にあった法律を作り被災者を救済するべきだと思います。原子力発電事業は国策である以上、国は、被災者を最後まで見捨てず救済していただきたい。」 60代男性 [避難指示区域内] No.325

「現行の賠償指針は事故後早い時期に定められたもので、時間の経過や復興の状況等による見直しがなされていない。—中略—現実には解除されても簡単には復興できない避難が長期化している。最近各地の裁判所でも出されている判決等も参考に指針を見直すことが必要。」

60代男性 [避難指示解除区域] No.157

「全国初めての原発事故なんだから(法律を)新しく改正して欲しいです。廃炉が終わるまで補償して欲しいです。」

50代男性 [避難指示解除区域] No.433

おわりに

# 感謝の言葉

「昨年暮れにとうとう一人暮らしになり—中略—今の処周囲の方たちに世話になり、年齢も考え、此処へ落ち着くことにしました。」  
80代女性〔避難指示区域内〕 No.352

「新しい地域で生活することにはとても不安に感じていました。こんな高いビルの中で生きていけるのか—中略—11年たった今、私は沢山の方々に支えられ良くしていただき、ここで生活できていることに感謝しています。—中略—今はこの生活を大事にして、いつか自分の老後は浪江町に戻ることができれば良いなと思っています。」  
50代女性〔避難指示区域内〕 No.139